

同窓会だより

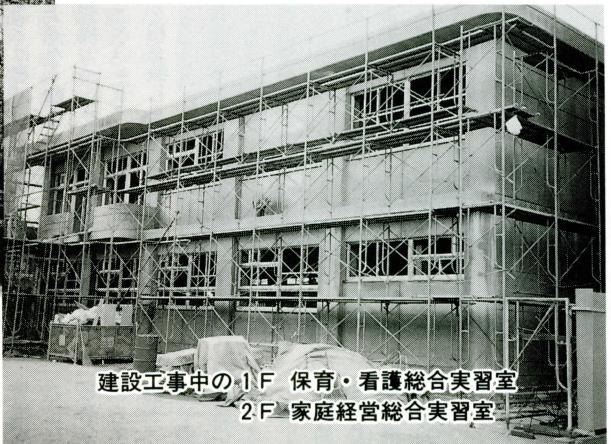
編集発行／岐阜県立本巣高等学校同窓会本部事務局
(〒501-04 岐阜県本巣郡糸貫町仏生寺・TEL (0583) 24-1201)

卒業生総数：
22,885人

中： 2,571人
女： 2,592人
校： 17,722人



モニュメント「都市」
長澤知明氏寄贈



建設工事中の1F 保育・看護総合実習室
2F 家庭経営総合実習室



新会長就任

ご挨拶
正 翠 明

同窓会長

皆様方には、輝かしい新年を迎えられ心からお喜び申し上げます。

昨年、十九年間の永きに亘り会長を務められました井深透氏が辞任されました。私は、井深さんに末永く会長を務めて頂きたいと念願し、強くお願い致して参りましたところ、身体上の都合によりどうしても辞任したいとの意向が強く、役員会でも再度お願いしましたがやむを得ないとことで最終的には了承されました。後任候補について、種々協議の結果、私に引き受けるよう要請がありました。私は到底その器でもありませんので強くご辞退致しましたが、誰かがやらねばならない役であるということで、お引き受けすることになりました。私も、お引き受けした以上は最善の努力をしその任に当たりたいと存じますので、役員の皆様の格別のご支援とご協力を心からお願いする次第であります。

さて、同窓会も本年は創立以来十三年を数み、卒業生が二万五千人にもなるとしています。平成二年には創立七十周年記念式典も行われましたが、平成七年には七十五周年、同十二年には八十周年を迎えることとなります。

つきましては、今後も本巣高校発展のため同窓会としても学校に協力して各種の事業を行っていかねばなりませんが、とりあえず平成七年には七十五周年記念事業として名簿を発行することとなり、且下その準備を進めていくところであります。次に平成十二年には八十周年を迎えてより要望のあった同窓会会館の建設事業を興すかどうかを決定し、実行に移すとなると、一年や二年で実現は不可能なことになりますので、その際には会員の皆様全員のご協力を願わねばなりません。その節は、全面的なご協力を心からお願い申し上げます。

その他、支部組織の強化や、本部総会の本巣郡内での開催など、今後いろいろ検討していくと思います。どうか皆様、同窓会のために今後一層のご支援とご協力を頂きますよう重ねてお願いすることともに、皆様方にはよい年でありますよう祈念致しまして年頭のご挨拶と致します。



ご挨拶

前会長
井深透

頼みますと、昭和四十九年八月十七日、竹中重之氏の後任として皆様のご推薦により同窓会長に就任致しましてから十九年の年月は流れ去り、昨年八月十四日の本部総会を境に退任致しました。

在任中の思い出は第二運動場建設當時のこと、当時第二運動場設置の要望が持ち上がり、県当局にお願い致しましたが、結果は私どもの要望とはかなりの距離があり、実現に困難を感じました。県当局の意向に従つて断念するか、建設に進むか協議致しましたところ、今断念すれば悔いを千載に残すことになるから、建設に踏み切ることに全員一致で決定しました。当時、県に横山勉氏がご在職中で、お力添えを頂きました。小林・松野両県議を始め、他の県議会議員の方々のご尽力により建設資金は掲げ、本巣両郡の町村より多額の資金を頂戴致しました。同窓会の募金活動は順調に推移致し、予定額を超過致しました。

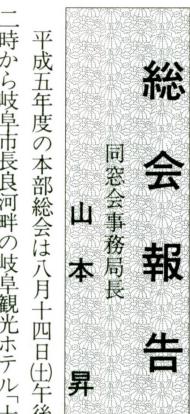
超過額は体育館の総額・第二運動場の門・器具などの施設に使用させて頂きました。その上の剩余金は近き将来建設予定の同窓会会



第二グランドの一角落活動に励む生徒たち

館の建設資金の一部として一千円を預金致しました。第二運動場建設にご協力頂きました関係各位に深甚の謝意を表しますとともに感謝致しております。

同窓会支部は各地にありながらほとんど名のみであります。昨今は岐阜・名古屋・関東・関西それぞれの支部で総会が盛大に行われております。本部総会は回を重ねる度に出席者は増加致し、友情の絆が強められて参りましたことは喜ばしいかぎりでございます。在任中、大過なく職責を遂行させて頂きましたことは皆様方のご支援・御協力の賜物で、ありがとうございました。皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念致しまして、ご挨拶と致します。



総会報告

同窓会事務局長
山本昇

平成五年度の本部総会は八月十四日(土)午後二時から岐阜市長良河畔の岐阜観光ホテル「十八楼」に於て、百九十名の出席者を得て盛大に開催された。総会は八代義隆氏(14年卒)の司会で井深透会長の挨拶に始まり、伊達賜郎学校長の母校の近況報告があり、後輩達の活躍ぶりが紹介された。引続き議長に揖斐支部の松久敏郎氏(11年卒)を選出し議事に入った。任期満了に伴う役員の改選が行われ、十九年間という長きに亘つて会長の重責を果たされた井深透氏に代わって翠正明氏が新会長に選出された。また規約改正も行われ、役員構成における部長制を廃止して常任理事制とした。その他左記議案が審議され、原案通り全会一致で承認された。

一、平成四年度事業並びに会務報告
一、平成四年度決算報告
一、会計監査報告
一、平成五年度事業並びに会務計画案
一、平成五年度予算案
一、創立五十周年記念奨学金給付報告
一、会則の一部改正
① 会則第七条「部長若干名常任理事中より会長が指名した者」を削除
② 会則第七条常任理事若干名「理事中より選出した者」を「会長が指名した者」に変更
一、役員改選(新役員別記)

翠新会長より記念品が贈呈された。
なお、井深透氏には、長年の功績に対しても、
祝いとして、昭和九年卒の大塚志朗・杉山淳郎・日比繁三の方々に扇子が贈られた。恩師には、杉山義雄・藤武子氏(38年卒)の指揮のもと懐旧談に花が咲き、後藤・高・遠藤博・河合敏緒・杉山千春・田中登・桑原克美・河野寿磨子の諸先生方をお迎えし、

●新役員●		顧問	副会長	副会長	監事	常任理事
		安藤 翠 井深 透(T 14)	大野 君子(S 11)八代 義隆(S 14)	梅田 茂(S 20)菅原 智子(S 36)	伏屋美代子(S 16)若原 忠義(S 17)	伊藤 民子(S 21)矢野 勝(S 30)
						林 秀一(T 15)森 義雄(S 8)
						中村 敬二(S 13)春日井昭夫(S 20)
						古田 弘(S 27)青木紀士夫(S 34)
						内藤 輝男(S 36)名知 和男(S 26)
						杉山恵津子(S 29)



当番学年の昭和三八年卒の多数の参加もあり、度の本部総会は、八月十三日(土)に終了した。平成六年度の本部総会は、八月十三日(土)に開催の予定である。

同窓会だより



校長

伊達 賜郎

質実剛健・文武両道

十九年間の長きに亘り同窓会長としてご尽力をいたいた井深透会長が、八月の同窓会にて辞任され、新しく翠正明氏が会長に就任されました。井深会長には筆舌に尽くせぬご支援を賜り、本校の発展に寄与していただきましたことに改めて敬意を表し、深く感謝申し上げます。本校第一回生の会長の豊饒としたお姿に本巣高校の微動だにしない厳然とした風格の源を見る思いで、絶えず伝統の重みを身に滲みて感じたことでした。ご高齢とはいえ、ご健健であられるので、いつまでも引き続いでのご支援をお願いする次第です。

かわって新たに就任された翠会長も本校をご卒業以来実に五十五年間、同窓会の役員を務められ、ここ十年余は副会長として会長をよく補佐され、後任の会長としては最適な方であります。新会長のご指導の下で本同窓会が益々発展することを祈つてやみません。さて現状についてですが、このたび本館の西側に家庭科実習棟ができることとなりました。建物は 2 階建てで、1F に保育・看護、2F に家庭經營のそれぞれ総合実習室を今年

度完成の予定で現在建築中です。地域に生き主導的な役割を果たす人材の育成を目指す本校の家政科が、これで更に一段と充実発展することを期待する次第です。次に本校北側の町道拡幅の件ですが、何年間も懸案であった

この問題も最終段階に達して今年度中に工事が完了する予定です。その部分の外堤の松はすべて移植し、工事部分には新しい松を植えることになります。尚代替地としては第二グランドの西南部の水路を埋め立ててグランドが拡張されます。十月末には同和教育に関する指定校研究の発表会を行いました。これは

平成 4・5 年度の「一年間、文部省より研究指定を受けたもので、糸貫町と合同で発表し、成功裡に終えることができました。本校は同和を感性面から捉え、学校の全教育活動を豊かな感性の育成の面から点検することを中心にして研究を進め、学校として大きな成果であったと思います。

少子化の時代で子供を巡る教育環境は大きく変化しています。その変化に保護者が戸惑い、充分過ぎるほど子供に手をかけながら、それが報いられぬ現実にただただ困難さを痛感しておられる様子が多く見受けられます。しかし時代は変わつても、学校は家庭と社会の接点にあって、子供達を社会へ出される姿にしていく役割を常に担つておるわけですか

ら、鍛えることは重要な使命であります。本校の校訓の「質実剛健・文武両道」の伝統はこの使命達成上最も大切なものであり、その延長線上に社会で活躍されている先輩諸氏の姿があることを思つて勇氣百倍の気持ちで日々の教育に取り組んでいるわけです。今後共に暖かいご支援、ご鞭撻をお願い致します。

平成四・五年度文部省指定 同和教育研究発表会を終えて

一 糸貫町あげての研究発表

昨年度より二年間、文部省より同和教育の研究指定を受け、全校で研究に取り組んできました。その発表会を平成五年十月二十八日開催し、県・郡内・町教育委員会・PTA・県下高等学校などから約百三十名の参加がありました。当日は全教科の公開授業、H.R. 活動の研究授業の後、体育館で発表会を持ち、二年間の研究成果について発表しました。午後は、糸貫町で開かれた糸貫町全体の発表会に合流しました。今回の研究は、町内の幼稚園から高等学校までが協力して、同和教育という一つの課題に取り組む画期的な発表となりました。

二 本校の同和教育のめざしたもの

同和教育とは御承知のように「不合理な偏見や差別をなくす教育」です。人間は一人ひとりが認められたいと願いつつも、時に他者に対する偏見や差別の意識を持つて接することがあります。これに対して、偏見や差別を乗り越えることができる、強く豊かな心を備えた生徒を育てることが求められています。

本校の同和教育が、

「人間の尊厳性を自覚し、偏見や差別を許さない生徒の育成」——ホームルーム活動を中心とした感性を育む教育を実践して——この使命達成上最も大切なものであり、その延長線上に社会で活躍している先輩諸氏の姿があることを思つて勇氣百倍の気持ちで日々の教育に取り組んでいるわけです。今後共に暖かいご支援、ご鞭撻をお願い致します。

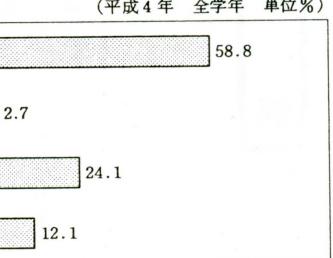
じている生徒が、かなりの割合で存在することが解りました。そこでホームルーム活動や教科を通して、生徒が存在感を持てるようないい方を工夫しました。

例えば

ホームルーム活動

では、生徒が主体的に討論できるよ

うにテーマや討議方法を工夫し、家庭にも協力しても



うして他者の意見を尊重しつつ、自分の言つべきことが言えるようになつてきました。教科指導でも、生徒が自分で考えたり、表現したりする場を設けることに努めました。取り組みの中で生徒の感性は育ちつつあり、それが偏見や差別を乗り越える力に結びついていくことを確信しています。

今後も、地域の良き伝統に培われた生徒の特性を生かしつつ、急激に変わりつつある現代社会を、たくましく豊かに「生きる力」を育てていきたいと思います。今回の取り組みが、その一つの契機になればと考えています。

支部だより

関東支部

支部長 本田 秀導

平成5年度関東支部総会は、九月十日東京・茅場町「鉄鋼会館」にて開催されました。出席者二十二名で一寸寂しい総会でしたが、本部から翠会長、伊達校長、山本事務局長を迎えて母校の近況を聞き、和やかに談笑しました。その席上、長年に亘り、支部長を務められた神谷春樹先輩が退任され、不肖私が大役をお引き受け致すことになりました。

六年度からは、新たに支部会則を設け、山田、真道、福田、山田(女)の各氏に副支部長をお願いし、積極的に活動していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

名古屋支部

支部長 山田 武夫

平成5年度 本巣高校同窓会名古屋支部大会とき 平成5年6月13日(日)
ところ 札幌かに本家・名古屋駅前支店
参加者 伊達賜朗校長・山本昇先生・井深透空会長・翠正明副会長・会員二六名。
現在支部会員一五七〇名、三〇〇名に通知、三〇名の大會でした。母校の映写機で、昔と今との学校風景を観賞出来て感激せり。
校長より平成4年度の部活動及び大学進学状況等の詳細な説明あり、活躍を喜び交す。

関西支部

支部長 所 敏勝

平成5年度支部総会を五月十五日、本部より伊達校長、高橋先生をお迎えし、大阪市内北区曾根崎の料亭「多幸梅」で総勢44名が集い、盛大に開催されました。来賓二氏の祝辞と母校報告の後、各役員の挨拶に続き今後の支部運営に関して活発な意見交換がかわされ『会長の会社』(中央観光バス)のデラックスバスを提供していただき母校見学ツアーオーを出しましょ!!』との意見も出る程で、後は唄あり踊りありの楽しい歓談のひとときが流れました。最後母校バナナザイで宴が終わつた後は三三五五、夜の北新地へ消えてゆきました。

平成6年6月12日(日)の再会を約し解散す。
(司会は副支部長 昭37 棚橋 篤夫)

岐阜支部

支部長 高橋 武揚

岐阜支部産み育ての親であります佐倉前支部長様が健康上の理由で退任せられ残念に思いますが、引き続き顧問として支部発展にお力添えいただくなり心強く思っております。さて、本年度支部総会は平成二年度以来の例により本部総会と合同で八月十四日長良川畔十八楼で岩田さかゑ副支部長の議事進行で行われ、会務・会計報告、役員改選のいずれも満場一致で承認可決されました。なお、新役員は村木光男副支部長(高11)の新任以外は全員留任となりました。本年度も支部同窓の皆様のご協力を心からお願い申上げます。

関西支部

支部長 所 敏勝

卒業生の活躍
河村道彦君(神戸学院大学) 本校H3卒
第七十七回日本選手権大会二百m優勝

慶事

訃報

今年度叙勲の榮誉に輝かれた方は次のとおりです。心から祝福申し上げます。

☆河村武彦(旧中16回卒)
元公立高校校長 教育功劳
○高木つた子(高女18回) H5・12・28
○中島 周一(旧特別会員) H6・1・28
○豊田 穂(中13回) H6・1・17
30

部活動等報告(平成5年度)

(県大会優勝以上)

運動系

○東四国国体出場

女子ソフトボール部(6名)
女子バレーボール部(1名)

水泳

二百米バタフライ 浦田みゆき
二百米個人メドレー 浦田みゆき

東海総体出場

中日本選手権大会県予選 優勝
中日本選手権大会 三位

岐阜県選手権 優勝

以上ソフトボール部
入選(2名)

書道部

県展青年の部 優秀賞 神谷映理子
杉原 真美

文化系

第17回全国高校総合文化祭出品
神谷映理子

書道部

第15回全国ホーマーイング作品コンクール
優秀賞 早矢仕陽子

家政科

第21回全国高校生アミのコンクール
第三位 佐藤 美香

絵画の部入選

第15回全国ホーマーイング作品コンクール
優秀賞 看護学習班
瑞玉章

絵画の部入選

第27回全国高校生ボスター・絵画コンクール
大編成 優勝・県教育委員会賞
学校特別賞
絵画の部入選(6名)

○吹奏樂部
第36回中部日本吹奏樂コンクール県大会
大編成 優勝・県教育委員会賞

○美術部
第27回全国高校生ボスター・絵画コンクール
大編成 優勝・県教育委員会賞

○吹奏樂部
第36回中部日本吹奏樂コンクール県大会
大編成 優勝・県教育委員会賞

○美術部
第27回全国高校生ボスター・絵画コンクール
大編成 優勝・県教育委員会賞